

くすのき

横浜市立西本郷中学校
横浜市栄区小菅ヶ谷 1-29-1
Tel 045-892-1911

第1号 令和5年4月21日

学校教育目標

校長 廣 渕 徹 志

- 「自ら挨拶」「自ら判断」「自ら行動」 人とのつながりを大切にする思いやりある西本中生
- ・自ら学び続け、自分の生き方を切りひらく力を高めます。 (知)
 - ・互いに生き方を尊重し、多くの人とふれあう中、礼儀と規律を大切にします。 (徳)
 - ・自他の命を尊び、たくましい心と体をつくります。 (体)
 - ・まちや社会の中で、共に認め合い、協働し貢献する姿勢を育みます。 (公・開)

入学式

春四月 今年の桜の開花は例年より早く、皆さんの入学を待って、美しく散りゆく桜の頃となりました。

152名の新入生の皆さん

ご入学おめでとうございます。

今年度は新入生を迎え、第1学年が4クラス（一般級）と6組（個別支援級）でスタートすることになりました。

新入生の皆さんは、本校の創立44年目に、それぞれの母校の思いを胸に、『西本郷中学校』の生徒として第一歩を踏み出すこととなります。

本校の学校教育目標は、「自ら挨拶」「自ら判断」「自ら行動」、そして、「人とのつながりを大切にする思いやりある西本中生」です。

この学校教育目標を心に留め、これからの三年間は、新しい友達や先生方とともに学び、語り合いながら、人生にとって大切な時期を過ごしていきましょう。

保護者の皆様、お子様のご入学、誠にありがとうございます。

これからの中学校三年間は、心身共に大きく成長し、子どもから大人へのステップとなる大切な時期でございます。また、変化の激しい多感な時でもあります。学校と家庭、地域がともに手を携え、連携を深めていくことができれば、教育活動もより一層充実したものとなること信じております。どうぞ、保護者の皆様のご理解とご協力、そして、これからの教育活動へのご支援を心よりお願い申し上げます。

— 「志」を持ち、楠のように強く成長し、

未来に向かって大きく羽ばたこう！」



「志」とは簡単に言うと「目標」「信念」です。新たな中学校生活で、学習や生徒会活動、部活動で「目標」や「信念」をもって生活をする事です。大事なものは、まず「これをやるんだ」という「志」をもつこと。何かの課題を前に「できないよ」と弱気になった時は、多くの先生にアドバイスをもらおうと良いと思います。「できる」「できない」は考えずとにかくやってみる事です。中学校3年間で、学校のシンボル、校章のデザインになっている「楠」のように寒さなどにも強く、未来に向かって羽ばたけるよう鍛え上げ、大きく巣立つ準備をしてください。

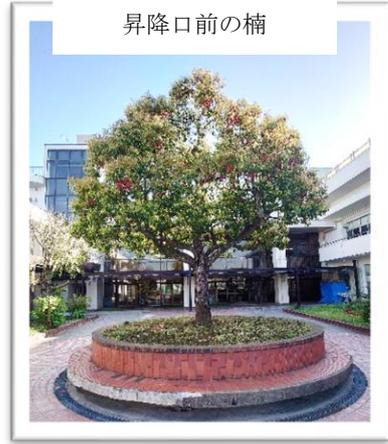
— 「^{どりよく}努力は人^{うらぎ}を裏切らない！ 」 —

一つ目の「志をもとう」とつながります。努力してもすぐには結果に結びつかないこともあります。しかし、その努力が長い人生の中で、きっと生きてくる時があります。何もしないところには何も生まれてきません。

— 「人の^{ちが}違いを^{みと}認め、人^{おも}を思いやる！ 」 —

人は、それぞれ様々な環境の中で育ち、考え方・表現の仕方・表情も違います。お互いに認め合い、理解していくことが大切です。学校生活だけでなく、社会でも、互いに気をつけなければ、何気ない一言で、傷つき、悲しむことがあるものです。ともに高め合いながら成長していく関係が大切だと思います。ひいては、それが自分を大切にすることにも繋がります。嫌な思いは、誰もがしたくないはずです。「いじめ」のない、明るい中学校生活にしてほしいものです。これは人として美しく心を寄せ、西本郷中で生活する上で、当たり前のことです。

昇降口前の楠



この三つのことを心に留め、歴史のある本校の伝統を受け継ぎながら、新たな風を吹かせ、さらなる西本郷中を築いてください。

最後に「夢と希望をもち、充実した中学校生活を送りましょう。」で締めました。

— 新入生代表の言葉 —

若葉の緑が目にも鮮やかな季節となりました。

私たち152名の新入生は無事に西本郷中学校の入学式を迎えることができました。

本日は、このような素晴らしい式を聞いていただき、本当にありがとうございます。

先日、私たちは小学校を卒業しました。そして、今日からは中学生です。新しい制服に袖を通し、今までとはまったく違った生活が始まります。新しい友達とうまくやっていけるのかな、勉強についていけるのだろうかと不安もありますが、どんな毎日がまっているのだろうかという期待に胸をふくらませています。

私たちは小学校三年生の終わりから自しゅく生活に入り、思うように行事に取り組むことができませんでした。今はようやくもとの生活にもどりつつあります。これからの学校行事がとても楽しみです。

三年間の中学校生活は、きっとあっという間に過ぎていくことと思います。楠笑祭や部活動に取り組んでいる先輩方を見て、良いところをたくさん取り入れ、一日一日悔いのないよう大切に過ごしていきたいです。

また私は、この中学校生活で生涯付き合っていける友達をつくるのが目標です。

今日から始まる西本郷中学での生活、様々な経験を通して成長していけるように三年間努力していきます。

先生方、先輩方、保護者のみなさま、どうか私たちを温かい目で見守っていただき、ご指導くださいますようお願いいたします。

新入生代表 三好 望



— 歓迎の言葉 —

桜の木々には若葉が芽吹き、いたち川のせせらぎにも、暖かな春の息吹が感じられるようになりました。新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

私たちはみなさんのご入学を心待ちにしておりました。みなさんの中には、今日の入学式に不安な気持ちで臨んでいる人もいるでしょう。その一方で、これからの学校生活への期待に胸がふくらんでいるのではないのでしょうか。みなさんは中学校と言えど何を思い浮かべますか。やはり印象的なのは部活動でしょうか。他にも体育祭や楠笑祭などの行事。学習面では教科ごとに先生が変わることやテストなど、学校生活にたくさんの変化がおとずれます。そして、今日がその変化を迎える一日目なのです。これから中学一年生として生活していく中で、中学校生活の全てに慣れるのには時間がかかると思います。ぜひ困ったと

きには周りにいる先生方や私たち先輩を頼ってください。私たちはそんな手助けの一つひとつからみなさんとの関係を深めていきたいと思っています。そして、みなさんからも歩み寄っていただければ、すごくうれしく感じます。

中学校の三年間は驚くほど早く過ぎていきます。そのため、一日一日を大切に過ごしてほしいと思います。また、小さなことにも目標を持つことをおすすめします。

例えば、初めの一週間のうちに違う小学校だった人五人に話しかけてみるとか、毎日その日の授業の復習をしてみるとか、小さな目標を達成していけば、必ず充実した中学校生活を送れると思うのです。ぜひ、自分が描く中学校生活をつくり上げ、楽しんでください。私たちも、みなさんと過ごすこれからの期待しています。

今日からの新しい日常が充実し、素晴らしいものとなるよう心から願い、歓迎の言葉とさせていただきます。

在校生代表 生徒会長 三宅 桃花



令和5年度 新たなスタート

【令和5年度 着任された教職員】

4月7日（金）3年ぶりに2・3年生全員が揃い、体育館において、新しく着任された先生方の着任式を行いました。多くの教職員の方々が着任され、44年目の西本郷中学校がスタートしました。「邂逅」（偶然の出会い）、^{いちごいちえ}「一期一会」（一生に一度の出会い）を大切にしましょう。次の方々が着任された先生です。

副校長	青木 美穂（あおき みほ）	戸塚区	境木中学校より
教諭	熊谷 綾介（くまがい りょうすけ）	旭区	万騎が原中学校より
教諭	上原 加奈子（うえはら かなこ）	港南区	丸山台中学校より
教諭	中込 高志（なかごめ たかし）	磯子区	浜中学校より
教諭	井上 誉士（いのうえ たかし）	南区	南中学校より
教諭	松元 啓介（まつもと けいすけ）	戸塚区	南戸塚中学校より
学校事務	小川 祐介（おがわ ゆうすけ）	栄区	小菅ヶ谷小学校より
講師	藤本 貢（ふじもと みつぐ）	県子ども自立生活支援センターより	
講師	矢島 芽以（やじま めい）	磯子区	森中学校より
講師	大田 敦子（おおた あつこ）	港南区	丸山台中学校より
養護教諭補助	平 沼 裕子（ひらぬま ひろこ）	鶴見区	上の宮中学校より

離任教職員

4月10日（月）に離任式が実施されました。西本郷中学校での思い出や生徒への熱い思いを語っていただきました。新天地でご活躍されることを願っております。



< 退任された先生方 >

教諭 新井 光子（再任用 豊田中学校へ）
 教諭 相澤 一也（再任用 藤の木中学校へ）

< 離任された先生方 >

副校長 河野 新（教育委員会事務局へ）
 教諭 金岡志津香（泉区 領家中学校へ）
 教諭 山木 知明（港南区 港南中学校へ）
 教諭 小谷 広（南区 南が丘中学校へ）
 学校事務 上條 咲子（戸塚区 舞岡小学校へ）



学校教職員紹介

～ 1年間よろしく願い申し上げます！～

		学校長 ヒロブチ 廣 潤		テツシ 徹 志		副校長 アオキ 青 木		ミホ 美 穂				
1 学年				2 学年				3 学年				
組	教科	氏 名		組	教科	氏 名		組	教科	氏 名		
主任	主幹 英語	チバ シン スケ	千 葉 晋 輔	主任	国語	ヒラガ ユタカ	平 賀 悠	主任	主幹 社会	デムラ アヤノ	出 村 綾 乃	
1 組	理科	ササキ ツヨシ	佐 々 木 剛	1 組	音楽	ヨネダ ユキ	米 田 夕 貴	1 組	保体	コタカ フミタカ	小 高 史 隆	
2 組	家庭	カトウ アツコ	加 藤 敦 子	2 組	数学	イノウエ タカシ	井 上 誉 士	2 組	数学	ミヤザキ タカシ	宮 崎 貴 史	
3 組	社会	ヨシダ アズミ	吉 田 安 澄	3 組	理科	ツツキ マリコ	続 木 麻 里 子	3 組	国語	ナカゴメ タカシ	中 込 高 志	
4 組	国語	タケウチ ユキ	竹 内 佑 希	4 組	数学	クマガイ リョウスケ	熊 谷 綾 介	4 組	理科	ツユキ アキコ	露 木 明 子	
6 組	(理科)	タカギ ユウコ	高 木 悠 子					6 組	(数学)	コニシ ヒロユキ	小 西 宏 幸	
副担	英語	ウエハラ カナコ	上 原 加 奈 子	副担	英語	マツオ ショウコ	松 尾 翔 子	副担	進路指導主任 保体	イトウ アヤ	伊 藤 彩	
副担	美術	タカヤナギ ケイコ	高 柳 馨 子	副担	生徒専任 保体	ササキ シュンイチ	佐 々 木 俊 一	副担	主幹・教務主任	マツイ ミサキ	松 井 み さ 紀	
非常勤講師		イノウエ メグミ	井 上 潤 美 (社会)	タキザワ タカヒデ	滝 澤 隆 秀 (技術)	アオノ ユウ	青 野 優 (英語)	フジモト ミツグ	藤 本 貢 (校内パート)			
教務主任		ヒラスマ ヒロコ	平 沼 裕 子 (養護教諭補助)	ヤジマ メイ	矢 島 芽 以	オオタ アツコ	大 田 敦 子 (スクールサポート)					
生徒指導専任		マツイ ミサキ 松 井 み さ 紀										
養護 衛生管理者 保健主任		チダ ノリコ	千 田 規 子	拠点校指導員				マツモト ケイスケ	松 元 啓 介			
特別支援教育 コーディネーター		ササキ ツヨシ	佐 々 木 剛	マツオ ショウコ	松 尾 翔 子	コタカ フミタカ	小 高 史 隆					
学校司書		タカハシ キョウコ	高 橋 今日 子	A E T				キラ ン	ジェービス	Keiran Jarvis		
スクールカウンセラー		ムラカミ ヒロシ	村 上 博	S S W				サカキ バラ	アツシ	榎 原 淳		
学校事務		オガワ ユウスケ	小 川 祐 介	職員室業務 アシスタント				クラ シマ ノリコ	倉 嶋 紀 子			
技能職員		フジワラ メグミ	藤 原 恵 美	イノウエ ケイイチ	井 上 喜 一							

わいせつ・セクハラ相談窓口



子ども達の「心のケア」のため、学校は「わいせつ・セクハラ」相談窓口を設け、生徒や保護者の相談にのっています。ご利用ください。秘密は厳守いたします。窓口以外の先生への相談でもかまいません。

《わいせつ・セクハラ相談窓口》
千田 規子 (ちだ のりこ) 先生
〈養護教諭〉
佐々木俊一 (ささき しゅんいち) 先生
〈生徒指導専任〉

《教育総合相談センターの一般教育相談》
電話番号：624-9414 月～金 9:00～17:00 (祝日・振替休日を除く)

スクールカウンセラーからのお知らせ

相談日：毎週金曜日

今年度も村上 博先生がスクールカウンセラーとして相談活動を行います。豊富な臨床経験のある「心の専門家」で、温厚なお人柄からいろいろな相談活動を行う中で、これから様々なニーズに応じてくださると思います。本校の生徒はもちろんのこと、保護者の皆様も遠慮なく気軽に相談していただければと思います。尚、学校では教育相談の時間を設けたり、担任の先生等による相談活動も随時行っております。

《 相談窓口 学校カウンセラー 村上 博 直通電話 892-1996 》

くすのき

横浜市立西本郷中学校
横浜市栄区小菅ヶ谷 1-29-1
Tel 045-892-1911

第2号 令和5年5月26日

沖縄修学旅行

まくとうーそーけーなんくるないさー

まくとうーそーけー南来長活作

4月25日から2泊3日でおきなわ
修学旅行を実施しました。

コロナ禍が続き、実施できなかった修学旅行を昨年度より沖縄に行き先を変更し、2回目となりました。

修学旅行実行委員会を中心に今まで作り上げてきた計画や事前学習を生かし、スローガン「まくとうーそーけーなんくるないさー」のもと、感動に満ち、思い出深いものになったと感じています。

東村 民泊のみなさんと共に集合写真



学校教育目標

校長 廣淵 徹志

学校教育目標の「自ら挨拶」「自ら判断」「自ら行動」、そして、「人とのつながりを大切にする思いやりある西本中生」を意識しながら、東村での民泊では現地の人との出会いや文化に触れ、素晴らしい体験になったと思います。また、「沖縄」の歴史や貴重な文化遺産、横浜とは違う豊かな自然に触れ、特に平和の尊さを後世にも残さなければならないと実感し、SDGsについて多くを学んだことでしょう。

東村 (民泊) 「花と水とパイン」の東村

東村は「やんばる (山原)」と呼ばれる沖縄本島北部、東海岸に位置する縦に細長い村。

やんばるの森には国の天然記念物に指定されている「ノグチゲラ」をはじめ、独自に進化した多種多様な動植物が生息し、ユネスコの世界遺産候補地となっている。



ひめゆりの塔

沖縄戦末期に沖縄陸軍病院第三外科が置かれた壕の跡に立つ慰霊碑。当時、第三外科壕に学徒隊として従軍していたひめゆり学徒隊にちなんでいる。

— ひめゆり平和祈念資料館 —

命の尊さ、戦争の悲惨さを教えてくれる資料館

沖縄戦に看護要員として動員されたひめゆり学徒隊の戦争体験を伝えるために、ひめゆり同窓会が設立し、1989年に開館した資料館である。

沖縄戦で亡くなったひめゆり学徒227名の遺影や遺品、生存者の証言映像や手記が展示されている。また、ひめゆりの塔のそばのガンマ (伊原第三外科壕) の実物大模型があり内部を見ることができる。



まくとうそーけー、なんくるないさー 修学旅行

三年学年主任 出村綾乃

4月25日から27日にかけて、西本郷中学校としては2回目の沖縄修学旅行が実施されました。

最新 AIRBASS A350
いざ沖縄へ！



<1日目>

「はいさーい」。学校を出発するバスの中、挨拶はすでに沖縄の「しまくとぅば」、羽田空港までの道のりはあつと言う間でした。最新鋭の飛行機「タヌキ」が離陸すると、大きな歓声がおこり、機長さんからは「西本郷中学校の生徒のみなさん、ようこそ」というアナウンスも流れ、特別なフライトとなりました。横

浜の気温より10度程度高い那覇空港の天気は晴れ、早速バスに乗り昼食会場の恩納村に向かいます。お昼は沖縄ソバとジュシー（沖縄の炊き込みご飯）をいただきました。目の前にはコバルトブルーの海が広がる絶景を眺めながらの昼食に、みな満足しているようでした。バスはさらに1時間ほど北上を続け、東村に到着しました。沖縄県内からも初日の出を見にたくさんの人がやってくる、東村の福地川海浜公園で記念撮影をしたあとは、お世話になる民泊の方との対面式が行われました。いよいよ民泊体験のはじまりです。

<2日目>

東村の民泊先は多くの方が農家で、日本一の生産を誇るパイナップルや、かぼちゃの生産が盛んです。実際に畑に入り、土をいじっての農業体験や、サーターアンダギーなどを作る沖縄の食文化体験、中国からやってきた三弦（さんげん）が琉球風に変化してできた三線（さんしん）を奏でる伝統文化体験などをはじめ、沖縄ならではの体験を楽しみました。各家庭の玄関先にある「シーサー」をはじめ見て、感動する生徒もいたようです。

昼には体験を終えたグループが東村の巨大な体育館に次から次へと集まってきました。なかには、民泊先の人に愛称で呼んでもらっている生徒がいたりするなど、短いながら密度の濃い体験ができたようです。2年時の戸狩に続いて、東村にも新たな「ふるさと」ができた瞬間となりました。名残惜しい別れのあとは、SDGs「持続可能な開発目標」のゴールごとに分かれた体験へと出発です。

- ★ 11番「住み続けられる地域」コース : 地域の歴史をどのように保存し、大切にするかを「恩納村博物館」の学芸員の方に紹介していただき、その後はフィールドワークで学習。



- ★ 14番「海の豊かさを守ろう」コース : GODAC（沖縄海洋環境情報センター）を訪問し、マイクロプラスチック問題について考え、実際に海岸でどのような漂着ゴミがあるかを実証。

- ★ 15番「陸の豊かさも守ろう」コース : さとうきび収穫と黒糖づくり体験。



- ★ 17番「パートナーシップで目標を達成しよう」のコース

沖縄独特の「共同売店」や、リゾート地恩納村のオーバーツーリズム問題の解決をめざした「万座毛周辺活性化施設」の見学。

それぞれの学習班が事前学習で立てた問いをもとに、現地で得た情報を整理し、事後学習で成果をポスターセッションとして発表する予定です。





さて、夜は宿泊先から徒歩5分の夕食会場で「エイサー、カチャーシー体験」です。まずはプロの方の迫力ある演舞を見学。エイサーは沖縄県外での「盆踊り」にあたるようですが、太鼓をたたきながら「イヤーサッサー」「ハーイヤー」の掛け声で全力で動きまわる様子は私達の想定する「盆踊り」の概念をはるかに上回るものでした。模範演舞のあとは、体験です。数名の有志が舞台上にあがり、「バーランクー」と呼ばれる小型太鼓をも

ち、プロに混じりエイサー体験をしたり、観客席では全員が立ち上がり「カチャーシー」体験をしたりなど、一生忘れることのない思い出となりました。

< 3日目 >

修学旅行最終日は、「ひめゆり平和祈念資料館」の見学からスタートしました。戦争前、本来の学校生活を送っていた頃の写真が多数展示されている明るい部屋から、実物大の壕の模型がある部屋へと突入すると、一気に戦争の実相が近づいてきます。歴史を知っている私達からすると目をそむけなくなる事実がつけつけられるのですが、ひめゆり学徒隊の一人ひとりが送った人生を記した資料を食い入るように見る生徒たちは、戦争の恐ろしさ、命の尊さ、平和の大切さを再認識したようでした。校長先生が結団式や解団式で、繰り返しお話くださった、「持続可能な社会」の土台となる「平和」についても、改めて深く考える良い機会となりました。

ひめゆりの見学が終わると、修学旅行学習の部は終了。昼はみなが待ちに待った国際通りでの班別自主行動となりました。「奇跡の1マイル」と言われ、沖縄の戦後復興を象徴する約600もの商店が集まる国際通り。グループで事前に調査したお店でお昼を食べ、残った時間でお土産を買い、沖縄の思い出を締めくくりました。

帰りの飛行機でも、機長さんからの搭乗アナウンスがあったり、マナーの良さをチーフパーサーの方から褒めていただいたりなどしながら無事、横浜に戻ってこられました。

実行委員さんを中心に全員で考えたスローガン「まくとうーそーけー、なんくるないさー」。自然教室を終えた昨年夏より事前準備をはじめました。司書の高橋さんに選んでいただいた、沖縄についての物語を読むことを入り口に、社会の時間を使って「持続可能な沖縄」を実現するための課題を考え、道徳の時間には沖縄戦の司令官だった牛島さんのお孫さんにあたる牛島貞光さんの講演を聞き、戦争と平和について考えるなど、修学旅行に向け十分な学習を行い、準備万端の状態横浜を出発しました。沖縄では、一人ひとりが貴重な体験をし、「持続可能な社会」に向け、平和についても考えた、充実した3日間となりました。

< 東村のビーチでのクラス写真 >

1 組



2 組



3 組



4 組



< 修学旅行を終えて 修学旅行実行委員長：矢野壮真くん（3年3組） >

今年度の修学旅行は、4月実施ということで、今まであまり話したことがないクラスメイトがいたりしましたが、2泊3日の沖縄修学旅行で全員が楽しく活動し終えることができました。無事にみんなが横浜に帰って来られた点だけでも大成功だったとも言えると思います。

僕たちは、中学校に入学したときから総合的な学習で、SDGsを含めた様々な学習に取り組んできました。特に2年生の3学期からは、本格的に修学旅行に向けた沖縄についての自然や風土、歴史、戦争等、SDGsを意識した事前学習に力を入れ、準備を行いました。

1日目の「民泊体験」では、東村の方々にお世話になり、民泊先の方や班の仲間との交流を深めることができ、自然や人の温かさを感じ、僕たちに元気を与えてくれました。

2日目には東村での体験学習後、SDGs体験の4コース（11、14、15、17番）に分かれ、現地ですべての情報を得ることができ、事後学習に活かす体験を行いました。また、夕食会場の「風月楼」では、「エイサー カチャーシー」という伝統踊りの迫力を視覚、聴覚、触覚で感じ、最後はみんなで体験し、楽しく終えることができました。

3日目には「ひめゆりの塔」「ひめゆり平和祈念資料館」を見学し、命の尊さ、戦争の悲惨さを学び、いかに平和が大切か実感しました。最後は国際通りで班別自主行動を行い、みんなで協力し、より仲間との素敵な思い出を作ることができました。

この3日間の修学旅行での出会いや感動は、中学校最大の思い出として心に留め、また、仲間との「協力」を今後の残り少ない中学校生活に生かし、存分に楽しんでいきたいと思っています。

< アートプロジェクト! >

5月15日付けの保護者通知でもお知らせしましたが、西本郷中学校の地域学校協働本部として、放課後学習会などの活動の他に「アートプロジェクト」を再開することになりました。

絵を描くのが好きな人、描いてみたい人、ちょっと新しいことをやってみてみたい人を対象に、メンバー募集を行っています。

< 参加申込書 〆切 > 5月30日（火） 担任に提出

< 説明会 アート体験 > 5月31日（水）
15:00～16:00 ふれあいルーム

< 活動日 > 毎月第2・第4火曜日 放課後 6月より ※ 変更あり

お知らせ

1. 開港記念日 6月2日（金）
2. 2年自然教室（長野県飯山市戸狩）
6月5日（月）～7日（水）
※ 6月8日（木） 2年生 午前：健康観察 4・5校時：登校
3. 1年SNS安全教室（県警少年相談保護センター来校）
6月15日（木） 6校時
4. 3年進路説明会 6月16日（金） 6校時
5. 1学期期末テスト 6月21日（水） 英語・理科・社会
22日（木） 国語・数学・保体
6. 生徒総会 6月30日（金）
7. 地区懇談会 6月30日（金） 本校体育館

< 進路関係 >

全公立展

6月17日（土） パシフィコ横浜

全私学展

7月17日（月：海の日）
パシフィコ横浜

公私合同説明・相談会

8月2日（水）～18日（金）
各会場

※ 詳細は神奈川県教育委員会HP

令和5年度 第44回卒業証書授与式 3月12日（火）決定!

※ ホームページにも掲載

くすのき

横浜市立西本郷中学校
横浜市栄区小菅ヶ谷 1-29-1
Tel 045-892-1911

第3号 令和5年6月23日

第43回 体育祭

校長 ひろぶち てっし
廣 渕 徹 志

“魂輝結笑”

< 選手宣誓 >



4色の体育祭実行委員による
選手宣誓

赤組	石附	奈桜さん
青組	松本	百花さん
黄組	鈴木	桃さん
緑組	池田	悠花さん

『魂輝結笑』のスローガンのもと、「第43回体育祭」を5月25日に開催いたしました。一昨年度の体育祭は新型コロナウイルス感染症拡大防止の為に中止、昨年度は体育祭途中の雨の為に二日間の開催となりました。今年度は“一人ひとりの個性が輝き、団結して取り組みたい。また、笑顔の結末を迎えられる体育祭にしたい”という意味をスローガンとして、体育祭日和の中、多くの来賓と保護者の観戦の中、体育祭を実施いたしました。

午前中前半の「個人種目」では、それぞれが諦めることなく日頃の体育活動で培った自分の能力のベストを尽くしました。後半からは「色別競技」、「各種リレー」が行われ、昼食・休憩を挟んで、「部活動対抗リレー」、そして「学年種目」、「色別対抗男女混合リレー」、最後に3学年による「ソーラン節」を行い、閉会式で締めくくりました。「学年種目」や「色別対抗種目」では、クラスや色別による絆・団結力を

をいかに発揮できるか、熱のこもった競技が繰り広げられました。仲間を信じ、仲間を助けながら、取り組む姿勢が素晴らしかったと思います。また、体育祭の最終種目として、揃いの法被で、さすが3年生という気合いのこもった「ソーラン節」を披露することができました。

学校行事等で新しいものを創造することは大切なことですが、伝統を受け継いでいくことの大切さも三年生の「ソーラン節」の素晴らしい演技で下級生が感じてくれたと思います。通常の体育祭ができる喜びを感じ、声を掛け合い、励まし合うクラスや色別の団結力は素晴らしく、1・2年生の後輩たちにも3年生の取組が大いに参考になり、自分たちの代には体育祭を含め、様々な行事をより成長したものにしようという気持ちを持たせてくれたと思います。生徒も当たり前だと思い、おこなっていたものに対し、できる喜び、感謝の心を持たれた体育祭だったと思います。

ソーラン節前の円陣を組んで気合い！



【 色別のクラス 】

	赤	青	黄	緑
1 学年	3 組	4 組	1 組	2 組
2 学年	2 組	4 組	3 組	1 組
3 学年	1 組	2 組	3 組	4 組



色別総合優勝
黄組

色別総合成績

優勝 : 黄組
準優勝 : 赤組

学年成績

< 1 学年 > < 2 学年 > < 3 学年 >
優勝 : 1 組 2 組 2 組
準優勝 : 4 組 3 組 1 組

3 学年 優勝
2 組



みんな全力を出し切って
頑張りました！
西本チュウも嬉しくて
涙がでます！



< 体育祭実行委員長の言葉 >

みなさん、体育祭お疲れ様でした。今年の体育祭はコロナ禍が明け、3年ぶりに通常の体育祭を行うことができました。スローガンである“魂輝結笑”（一人ひとりの個性が輝き、団結して行く。笑顔の結末を迎えられる）という目標を達成することはできましたか。私たち3年生は最初で最後の通常の体育祭ができ、きっと全力で楽しめたと思います。1、2年生も来年、再来年とこの体育祭を引き継ぎ、最高の思い出になるように自分たちで創り上げていってほしいです。さらに、たくさんの種目で、クラスや学年、全校と協力し合い、応援のお陰でとても盛り上がったと思います。

最後に、体育祭の運営はたくさんの委員会や先生方の支えがあって成り立っています。なので、その方たちへの感謝の気持ちを持ち、これからのイベントに臨みましょう。

鈴木 桃（3-3）

部活動対抗リレー



3 学年 「ソーラン節」！



体育祭実行委員会のメンバー！



自然教室実行委員： 矢野 翔也 渡邊 心海 浅野 陽 田中 龍惺
木島 綾子 向出 光絵 渥美 奏 秦 悠蒼

私たち2年生は6月5日から6月7日までの3日間、長野県の戸狩に2泊3日の自然教室へ行ってきました。

私たちは自然教室に向けて、昨年の12月頃より自然教室準備委員会を立ち上げ、スローガンの決定や生活のきまりの作成などを行いました。特に「生活のきまり」については、学年全員で決めることを大切に、長い時間をかけて議論を重ねました。生活のきまりについては、「大原則」「バスのマナー」「持ち物」「服装」など項目ごとに各クラスで話し合って意見を出しました。その後、準備委員会で原案を作成した後、各クラスで再度意見や質問を受け付け、生活のきまりを決定していきました。様々な意見があり、全員が納得できる生活のきまりを作るために苦労したこともたくさんありましたが、みんなで作ったからこそ、みんなでルールを守る意識をより強くもつことができたように思います。自然教室を終えて、修学旅行へ引き継ぎたいルールなど、様々な反省が出ました。修学旅行では、より全員が守ることのできるルール、みんなが修学旅行を楽しめるようなルールを、今回の反省を活かして決めていきたいと思っています。

自然教室の体験では、箸作りや田植え、カヌーなど様々なものを行いました。自然教室から帰ってきて、多くの方が「楽しかった」「最高だった」と話していて、実行委員として達成感があり、とてもうれしかったです。実行委員自身も楽しめた自然教室でした。また、いつも仲良くしているメンバーだけでなく、様々な宿の方々との交流を深めることができ、クラスのメンバーとの仲も深まったように感じています。「人とのつながり」が多く生まれた自然教室でした。来年度の沖縄修学旅行も、帰ってきたときにみんなが「楽しかった」と思うことのできる行事にしていくことができるように、今回学んだことを活かしていきたいです。



自然教室から帰ってきた翌日、午後からの登校で、体育館での解団式と教室での振り返りを行いました。解団式では、各宿の宿長となった生徒一人ひとりから、それぞれの宿で体験してきたことの発表がありました。箸作りなど共通の体験もありましたが、同じ宿で過ごした仲間やお世話になった宿の方によって、その体験から感じたことや得られたことはそれぞれに違うようです。それぞれにとっての体験の価値を大切にしつつ、仲間の価値観も尊重し、黄学年での自然教室の思い出として共有してほしいと思います。

2学年主任 平賀 悠

振り返りでは、「自ら判断」することができたか、自分たちで作ったルールを守れたか、といった「できたこと」のほか、そのルールをどう改善できるかといった、これからの学校生活や来年度の修学旅行につなげていくための振り返りを行いました。その中には、「楽しめましたか？」という質問とその理由を回答する項目もありました。印象的だったのは、その理由を書こうとする場面で、「すべて、ではだめなんですか？」「楽しくないことが全然なかった。全部楽しかった。」というやりとりがあったことです。これからも様々な体験を楽しむ気持ちを大事にし、いろんなことに挑戦して行ってほしいと思います。

このように充実した自然教室にできたのも、西本郷中生を温かく迎えてくださった戸狩の宿の方々や地域の方々、そして実施までのさまざまな面でご協力いただいた保護者の皆様のおかげです。本当にありがとうございました。

部活動紹介



3年生にとっては6月から最後の夏の大会（ブロック大会を含め、市総合体育大会）やコンクール等が始まります。中学校生活で培った心と技と力を存分に発揮してもらいたいと思っています。今回は各部の部長による大会・コンクール等に向けた抱負を紹介したいと思います。

〈 バスケットボール部 〉

男子部長：原田 悠人

男子の抱負は『県大会出場』です。

私たちは先生方の指導のもと、日々考え、判断し練習に取り組んでいます。今回の夏の大会は3年生にとって最後の大会です。だから、1つ1つの練習において一生懸命に取り組み、その成果を出し切って県大会に出場したいです。

女子部長：臼田 愛未

女子の抱負は『県大会出場』です。

私たちは、3月まで選手4名、マネージャー1名という厳しい状況で活動をしていました。しかし、4月から新入生が入り、合わせて選手15名、マネージャー1名のとても賑やかな部活になりました。県大会出場に向けて、部活動全員と厳しい練習を乗り越え、試合では最後まで全力で戦います。



〈 剣道部 〉

部長：加藤 生弦

私たち剣道部は県大会出場という目標に向け、一人ひとりが課題を意識し、切磋琢磨しています。稽古の時には、互いにアドバイスをし合い、苦手なところを克服するよう協力しています。県大会出場に向け、チーム一丸となり、よりいっそう励んでいきます。

〈 ソフトテニス部 〉

男子部長：日力郁哉

男子ソフトテニス部は夏の大会に向けて、基礎の練習は必ず行っています。またそれぞれのポジションに必要な技術や動きも練習し、大会での優勝を目指しています。

また個々の実力だけではなく、ペアでの実力向上を目指し、ただ練習するのではなく、声を掛け合い、それぞれのペアにあった戦い方を見出しています。休日には試合形式を行い、自分たちの実力を知り、いいところ、改善点を見つけ、強くなっていきます。

男子ソフトテニス部は、部員全員がよき仲間であり、またよきライバルとして活動に取り組んでいます。

女子部長：稲毛柚月

私たち女子ソフトテニス部は、新入部員が7名入り、計36名で新チームとして、これからの大会に向け、日々成長できるように努力していきます。これからの季節は気温がだんだんと高くなり、熱中症などによるリスクが高くなっていきますが、体調に気を付けながら、一生懸命活動できたらと思っています。また大会ではベスト14に入り、上の大会に進めるよう1人1人、苦手な部分を克服したり、また得意なところを伸ばしていけるように練習に取り組んでいければと思っています。



〈 水泳競技部 〉

部長：石塚椋大

私たち水泳競技部では、今年ではできるだけ多くの部員が市大会、県大会、関東大会へと出場することを目指しています。そのために、わずかな水中トレーニングでは、部員全員が1秒でも速くなるように一生懸命練習しています。陸上トレーニングでは、泳ぐときに必要な筋力や体幹を中心に鍛えています。1年生がたくさん入って来てくれたおかげで、にぎやかな水泳競技部となりました。誰もが安全に過ごせるように頑張っていきます。

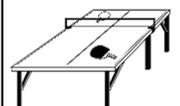


〈 卓球部 〉

男子部長：沖原 聡祐

女子部長：清宮 月琴

卓球部は1年生18人、2年生6人、3年生10人の計34人で活動しており、学年を通してみんなで仲がよく、良い雰囲気を取り組むことができます。新しい練習や形式を最近は取り入れて、全体で向上していけるよう個人戦や団体戦に向けてがんばっています。特に3年は今年で最後なので、県大会や関東大会に向けて精一杯練習していきたいです。



〈 陸上競技部 〉

男子部長：帖佐 晴真

女子部長：鈴木 桃

陸上競技部は、6月3日、4日に行われた神奈川県、関東、全国へと繋がる横浜市大会に向けて練習に励んできました。2名が神奈川県大会に出場が決まり、多くの3年生が自己ベスト更新や県大会出場を目指し積極的な走りを見せてくれました。

今年度は1年生が男女合わせて18人入部しました。次は、栄区大会、市総体、市駅伝に向けて、個人・リレー・総合とチーム力で満足のいく結果が残せるようにしていきたいと思えます。そのために、部員全員で協力し、質の高い練習を目指しています。また、効率よく練習が行えるよう学年の部員だけで固まらず、声を掛け合い1人1人が積極的に動くことが今のチームの課題です。部員も増え、チーム・仲間を大切に、どんな練習にも一生懸命に取り組んでいきたいと思えますので、応援よろしくお願ひします。



〈 野 球 部 〉

部長：齊藤 和希

野球部では上郷中との合同で市大会ベスト4を目標に活動しています。

3年生を中心に質の高い、練習、試合をするため一人ひとりが意識し取り組んでいます。また、人数が少ない中1、2年生と協力し、仲の良いチームを作っていくために雰囲気大切にしています。そして、チームの勝利のため、それぞれが課題を持ちながら活動することを心がけています。



〈 サ ッ カ ー 部 〉

部長：矢野 壮真

サッカー部では、神奈川県総合体育大会ベスト16を目標に、日々活動しています。そのため、練習の質にこだわり、仲間と声を掛け合いながら取り組んでいます。また、学年関係なく協力し合っていて、とても楽しく活動できています。

まずは、6月24日から始まる横浜市総合体育大会を勝ち抜き、神奈川県総合体育大会に出場したいと思えます。皆さん応援よろしくお願ひします。



〈 吹奏楽部 〉

部長：橋本 瑠利子

私たち吹奏楽部は、東関東大会出場を目標とし、日々練習に励んでいます。今年も部員全員がコンクールメンバーとして出場することのできるA編成に出場します。練習をしていく中で、同じ楽器の人たちで音の長さや音程を揃えたり、リズムを合わせたりしていくことは、とても地道な作業ですが、みなさんに良い演奏をお届けできるように頑張っています。また、これからコロナ禍以前のように演奏会を行う機会が増えてくると思えます。みなさんに楽しんでいただけるような演奏ができるように努力していきますので、応援よろしくお願ひします。



〈 演 劇 部 〉

部長：益子 未紘

私たち演劇部は、夏の大会で最優秀賞をとることを目標とし、日々練習に取り組んでいます。昨年度の夏の大会では、優秀賞という悔しい結果であったため、今年はこの目標を部員全員で目指しています。基礎の積み重ねを忘れずに、劇づくりを行っています。

また「まわりから応援される部活動」を主軸とし、私たちを支えてくれる人たちや周りの人への礼儀や感謝の気持ちを大切に活動していきます。

この2つの目標を達成できるように、頑張ります。

〈 囲 碁 部 〉

部長：村形 葵衣

私たち囲碁部は、「良(い)碁(ご)楽(らく)碁(ご)」を目標として活動しています。みんなで楽しく活動することによって、より良い部活を作っていくという意味をこめています。

現在は、7月に行われる団体戦に向けて部員一丸となって練習に取り組んでいます。特に3年生はこれが最後の試合となるので、より一層熱が入っています。

先輩方が作ってくださった目標を掲げ、全学年で仲良く真剣に活動していきます。



～ 今年度の神奈川県総合体育大会(県大会) ～

今年度の神奈川県総合体育大会は、「相模原ブロック大会」になります。7月27日(水)に開会式が「相模女子大学グリーンホール」で行われ、一部の競技以外は相模原市等の会場で開催されます。3年生にとっては最後の大会となります。会場によって応援の制限がありますが、是非、試合会場に足を運び、子ども達の成長(頑張る姿)を見ていただければ幸いです。

くすの木ルームだより

読むことや書くこと、計算が苦手、体調が悪い、人間関係で悩んでいるなど、様々な事情で学習に困難をきたして、学校に登校できない生徒がいます。

本校では、くすの木ルームで子どもたち一人一人が落ち着いて生活したり、自分のペースで学習できるようにしたりするなど特別支援教育を実施してきました。

平成5年度は、校内ハートフル事業（不登校児童生徒支援員配置）実施校になりました。くすの木ルームにハートフル支援員が常駐しています。生徒自身の必要に応じて学ぶ環境や生活環境を用意していきます。まずは学校の先生に声をかけてください。担任、特別支援コーディネーター、ハートフル支援員、副校長などでお話をうかがわせてください。その子にあった学習環境を一緒に考え、学びの機会を一緒に作っていきましょう。保護者の方もぜひ学校にご相談ください。

ハートフル支援員の藤本貢です。子どもたちと楽しく充実した1年になるように頑張っていきたいと思っています。また、子どもたち一人ひとりが自分の好きなこと得意なことを見つけ、それを伸ばしていけるよう支援していきたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

くすの木ルームは、昨年度まで保健相談室だったところになりました。落ち着いた雰囲気の中で学習ができる環境にしています。現在は、子どもたちが使用しているクロームブックで各教科の学習動画を見て、基本問題やチャレンジ問題に取り組んでいく「デキタスでの自主学習」を中心にやっています。これからは、算数、数学、国語等のドリルや問題集を使用して、その子にあったペース等で学習できるように取り組んでいきます。休み時間には、読書やオセロゲームなどをして過ごしています。

夏休み明けの2学期からは、各学年の教室にカメラを設置して、くすの木ルーム内でクロームブックを使用して、教室の授業を見ながら学習するシステムを取り入れる計画になっています。

お子さんのことでお困りのことや心配ごと等がありましたら、ハートフル支援員は、くすの木ルームに常駐していますので、いつでもお気軽に声をかけてください。

ハートフル支援員 藤本貢



お知らせ

1. 個人面談 7月11日（火）～14日（金）
2. 学習相談 7月18日（火）、20日（木）
3. 大掃除 7月19日（水）
4. 1学期終了式 7月20日（木）



☆. **令和6年度神奈川県公立高等学校入学者選抜選考基準及び特色検査の概要**
⇒ **神奈川県教育委員会HPに掲載**

https://www.pref.kanagawa.jp/docs/dc4/nyusen/nyusen/senko_kijun.html

学校ホームページに掲載

- **令和5年度 中期学校経営方針**
- **学校予算 : 令和4年度決算報告書 令和5年度予算執行計画書**



日本の伝統 “祭り”

校長 廣淵徹志

7月になり、夏休みに日本各地で「夏祭り」等の開催が予定されています。新型コロナウイルス感染症拡大防止からこの3年間は開催が中止され、かつての夏の賑わいが影を潜めていました。この開催を心待ちにしている人たちも多いのではないかと思います。



今年、西本郷中学校の学区である小菅ヶ谷・笠間連合町内会自治会でも「夏祭り」や「盆踊り」が行われ、子どもからお年寄りまで多くの人たちによって賑わいが戻ってくるはずですよ。

日本人にとって『祭り』とは何でしょうか？それは日本の風土・気候＝春夏秋冬と大きな関わりがあります。農耕民族の日本人にとって、「春の訪れとともに種をまき、夏には害虫や疫病、台風などの被害にあわないことを願い、秋には実りに感謝を捧げる。また、寒さの厳しい冬にはこもりながら穢れを落とす禊ぎなど、魂を充実させていく……」。日本人の季節感が祭りに凝縮され、季節の移り変わりに寄り添うように人々の営みがあります。そこには日本人の“生きる力”を見ることが出来ます。

「夏祭り」の代表的なものの一つに京都の『祇園祭』があります。京都三大祭（他は葵祭、時代祭）の一つで、八坂神社の祭礼です。平安時代の清和天皇の時に疫病の流行をしずめるため、平安京の広大な庭園である神泉苑に日本中の国数と同じ66本の鉾を立て、神に祈ったのが始まりとされています。この当時は神の怒りや悪霊こそが疫病の原因だと思われていました。

また、青森の『ねぶた祭』（8月2日～7日）は、東北三大祭り（他は仙台の七夕まつり、秋田の竿灯まつり）の一つです。害虫の被害が最も多い夏に農村では病虫害を追い払うため、虫送りとも言われている祭です。

世界にも様々な祭りがありますが、日本は神社やお寺などで神様に感謝の気持ちを示すものとして行われるものや、豊穰を祈願するようなものなど、自然とともに営んできた日本人の伝統的な祭りが多いです。



私も子どもの頃から「祭り」が好きで、待ち遠しく法被、腹当、手ぬぐい、足袋等を早くから用意していた記憶があります。

コミュニティとしての地域社会にいつの時代も人々を集め、楽しく、おだやかにまとめる力を持っている、日本の伝統が“祭り”だと言えます。

6月13日（火）に西本郷中学校において、西本郷中学校ブロック第1回学校運営協議会が行われました。学校運営協議会は、西本郷中学校区内の地域住民や学校運営に資する活動を行う者（学校・地域コーディネーター）、学識経験者、保護者（PTA会長）、校長により構成されています。本協議会は、保護者、地域住民等と学校が情報を共有しながら連携強化を進めることで、「横浜教育ビジョン」で示された「知」「徳」「体」「公」「開」を兼ね備えた”横浜の子ども”の育成を目指す学校運営の実現や、未来の「西本郷・笠間」の地域を担う児童・生徒の健全な育成に取り組むことを目的に活動するものです。

< 学校運営協議会委員 >

氏名	カテゴリ	所属	氏名	カテゴリ	所属
指田 弘	地域住民	笠間連合 会長	松本多貴子	学校運営に資する者	学校地域コーディネーター
田中 健次	地域住民	小菅ヶ谷連合 会長	大竹 緑	学識経験者	杜ちやいんど園 園長
村松 弘一	地域住民	笠間連合 副会長	小泉 裕子	学識経験者	鎌倉女子大学教授
中里 章夫	地域住民	小菅ヶ谷連合 会計	平田 眞大	保護者	笠間小PTA会長
田中久美子	地域住民	小菅ヶ谷町内会会長	大矢 あい	保護者	西本小PTA会長
本田 睦子	学校運営に資する者	主任児童委員	佐久間千秋	保護者	西本中PTA会長
栃木 伸子	学校運営に資する者	主任児童委員	中里 純子	設置校の学校長	笠間小 校長
田村 郁子	学校運営に資する者	学校地域コーディネーター	活田 宏輔	設置校の学校長	西本郷小 校長
山本 明美	学校運営に資する者	学校地域コーディネーター	廣渕 徹志	設置校の学校長	西本郷中 校長

< 学校運営協議会役員 >

※ 学校運営協議会会則に基づき、役員を選出いたしました。

会長：田中 健次 様

副会長：指田 弘 様 中里 章夫 様 書記：佐久間千秋 様

○ 校長挨拶

- 西本郷小学校 活田校長

今年4月時点で児童数は523名。児童たちの学校生活は落ち着いてスタートしている。大船ルーテル保育園と幼保小連携推進地区。



- 笠間小学校 中里校長

児童数は527名。全学年3クラスとなる。長年、就任していた児童支援専任と教務主任が今年入れ替わった。笠間小は縦割り活動を充実し、児童の豊かな心を育てていきたい。



- 西本郷中学校 廣渕校長

新年度に入り、学校生活も新型コロナウイルス感染症拡大防止以前に戻りつつある。文科省の指定でESD事業を推進し、SDGsの担い手育成を意識した学校運営に取り組んでいる。現在、視聴覚室をメディアルームへと改修中で、メディアルームと図書館の両方を活用し、総合的な学習を含め、探究学習に役立てるよう考えている。今回の第2回学校運営協議会はメディアルームで開催予定としている。

○ 田中健次会長ご挨拶

学校運営協議会として将来の担い手づくりに関わることができありがたいと思う。栄区全般では高齢化が進んでいるが、小菅ヶ谷・笠間地区は新興住宅地として若い世代が増えている。これからの世代を育てていける様よろしくお願ひしたい。



- **A部会** : 西本郷小学校・笠間小学校・西本郷中学校に分かれ学校運営方針の承認や教育活動の共有、学校運営の評価などを検討する。

— **中期学校経営方針と児童生徒の生活の様子** — 各学校長より

【 西本郷小 】

「問題発見・解決能力」「自分づくりに関する力」の資質・能力を育てていこうと考えている。だがその計画が実際の子どもたちとかけ離れてはいけない、実情と理想が離れすぎてはいけなとなり、「夢を語る会」を昨年から行っている。年8回授業公開し研究を行っている。低学年は生活科、3年生以上は理科と社会の授業が対象である。児童の疑問を持つ点からはじめ、問題発見や解決能力を育てる。ただ児童は自己肯定感が高い方だと思うが失敗を恐れるところがある。人権の取り組みとして「やさしさをみつけよう」を行っている。児童が発見した「やさしさ」の手紙を校長宛に学校内ポストへ投函している。校内でも、発見した「やさしさ」を貼り付けている。

【 笠間小 】

「問題発見・解決能力」「自分づくりに関する力」の資質・能力の育成に注力している。先生からの課題にはそつなくできるが自ら課題設定する点が必要と感じる。「主体的」「自分で問題設定」を重点にしている。算数科をメインに授業研究を行っている(年6回)。全体的に縦割り活動を主軸に行っている。人との関わりを持ち、心を豊かにする目的としてあいさつ運動を行っている。本校も「やさしさをみつける」運動を行っている。西本小と同じく校長宛に投函し、全校向けに貼り付けしている。

【 西本郷中 】

市・国の学力学習状況調査を分析すると、学力は平均より上だが自己肯定感が低いことが分かる。これからは他と比べることにより、生徒一人ひとりの学力の伸び(学力レベルによって)からよりよい学びにつなげていくことが大切である。翠嵐高校の授業を見ると、互いに教え学び合うことによって、自分自身も相手も理解が深まり、コミュニケーション力も高まり、相乗効果が生まれている。授業の参考にしたい。自分で判断し、準備をし、行動を始める「主体性」が必要である。

また、本校はESD(持続可能な社会の創り手を育む教育)の推進校として文科省の指定を受けている。修学旅行もSDGsを意識して沖縄に行っている。戦争激戦地としての歴史をもつ沖縄だからこそ平和を前提にSDGsの必要性を学ぶことができる。

- **B部会** : 地域連携部会・学習支援部会・幼保小中連携部会に分かれ、情報交換・共有する。児童・生徒に必要な支援や地域連携のあり方などを検討する。

— **各校の地域学校協働本部の活動紹介** — 各校の学校・地域コーディネーターより

【 西本郷小 】

主な取組は、①教育活動サポート委員(学校)②地域の教育サポート委員(地域)③学校運営サポート委員(P.T.A)。卒業したOB・OGも多く約100名のボランティアのうち50名は地域の方々である。

【 笠間小 】

親しみを込め、地域学校協働本部を「かさまっこサポーターズ」と命名。主な取組は、①安全サポーター②学習サポーター③環境サポーター。現役保護者だけでなく、卒業した保護者のOB・OGもボランティアとして参加している。今後は学校・地域・子どもがウィンウィンになれば良いと考えている。

【 西本郷中 】

地域との連携で、①学習支援(火・金曜日の放課後に実施。現在約30名の生徒が自ら参加している)②ボランティア活動支援(地域行事への生徒参加。ボランティアの事前の心得・意思統一の必要性がある)③地域との交流(アートプロジェクトなど)④いのちの授業(いつか実現したいと考えている。現在検討中)⑤文化スポーツ活動支援(学校開放についての支援)を行っている。常に生徒が中心になる活動となるよう企画・実施している。

- **全体会** : A・B分科会での協議内容報告 事務連絡

よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト 栄区大会

6月29日(木)「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト栄区審査会」が実施され、各中学校代表6名の生徒のスピーチが「国際平和のために、今自分にできること」に沿った内容のものであるか、聞き手に対して説得力やアピール性のあるスピーチかなどの表現力に基づいて審査されました。本校からは「水谷春音さん」(3-1)が学校代表として、素晴らしいスピーチを行いました。

最優秀賞	樋口 綾音 (小山台中)	「我が家にできる生産と消費」
優秀賞	池田 詩 (本郷中)	「動物って商品なの?」
優秀賞	長者 瑠夏 (上郷中)	「好きなものを好きといえる世界」
優秀賞	戸川美曜子 (桂台中)	「言うやさしさか、言わないやさしさか」
優秀賞	加藤 桃花 (飯島中)	「ウミガメがおしえてくれたこと」
優秀賞	水谷 春音 (西本郷中)	「大根の葉をイメージして」



夏休み・・・家族・地域の一員としての自覚と責任

この夏休み、コロナ禍とは違い、人々の活動が活発化する中、「自分の身は自分で守る」「家族や地域の一員としての自覚と責任をもって行動する」を心掛けることが大切です。

～ 保護者の皆様へ ～ 青少年の非行・被害防止全国強調月間

内閣府主唱の下、文部科学省その他の関係省庁等の参加により、毎年7月を「青少年の非行・被害防止全国強調月間」と定め、青少年問題等への対応の強化を図っています。今年度も国民の意識の高揚、青少年非行等問題行動への対応の強化、福祉犯被害等の防止を図り、青少年の非行・被害防止のための活動を広く集中的に実施することとしています。特に今年度の最重点課題は、「インターネット利用におけるこどもの犯罪被害等の防止」とし、各種取組を集中的に実施することとしています。

○ SNSによるトラブル多発

横浜市内中学校において、SNS (LINE やツイッター等) によるトラブルが多く発生し、刑事事件にまでなっているケースやゲームの課金が百万円、数十万円以上に膨れ上がっているケースがあります。また、画像を載せたり、差別や偏見、いじめにつながる人権にかかわる問題等が起こってきています。保護者の管理の下、正しい使用法をご確認ください。

ペアレンタルコントロール → 子どもによるパソコンや携帯電話・スマートフォンやゲーム機などの情報通信機器の利用を、親が監視して制限する取り組みのこと。

スマートフォン等は 保護者の管理の下で持たせ、使用させていることを忘れないように!

○ 自転車損害賠償責任保険

自転車の交通事故による高額賠償事例が発生しています。神奈川県では自転車保険の加入義務化になりました。自分や家族の自転車利用にあった保険に加入してください。横浜市交通安全協会などに問い合わせると良いでしょう。

○ ピーガルくん 子ども安全メール

最近、子どもを取り巻く環境の中で、様々な事件が起こっています。神奈川県警察では、子どもを犯罪から守るための情報を電子メールで携帯電話とパソコンにお知らせするサービスをおこなっています。「神奈川県警察のホームページ」や「ピーガルくん」で検索すると登録の仕方が分かります。



お知らせ

夏季学校閉庁日 8月7日(月)～8月16日(水)!

夏季閉庁日期間中は日直を置かず、対外的な業務を行わない日としています。ご理解ご協力をお願いいたします。また、閉庁期間中は原則、部活動も実施いたしません。

- 夏季学校閉庁日期間は、学校は留守番電話設定になります。
- 夏季学校閉庁日期間の緊急連絡先(緊急時に限る) 南部学校教育事務所指導主事室 843-6408
- 事件・事故に関わる場合は、まずは警察へ連絡をしてください。

< 事が起こったら、まず110番! >



二学期始業式 8月28日(月)

教育相談週間 8月28日(月)～9月4日(月)